

令和5年度 音楽科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 昨年度の課題について

・感染対策を意識しながらの活動であったため、歌唱や吹奏楽器の活動にあまり時間をかけられなかった。また授業形態も一斉指導がメインとなり、小集団活動などによる音楽的な深まりがしにくくなっていた。

(2) 今年度の課題について

・新型コロナウイルスが5類相当に引き下がったことで、歌唱の時間を多くとるようにしたが、歌いこなれていない児童が多く、発声が上手くない。また、マスクを外したからない児童も多くおり（特に高学年）やはり響きを伴う発声を求めているには時間がかかる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一定の速度を保つなど、リズムに対する感覚を身に付けるために、身体表現を取り入れて、拍を感じることを実感させる。	歌のイメージに合わせて歌うために、範唱やCDの声をじっくりと聴かせ、イメージや考えたことなどを発表し、どのように歌ったらよいか考える活動を取り入れる。	友達と気持ちを合わせて表現し、音楽活動の楽しみを体験させるために、どこまで取り組んだら良いか目標をもって活動できるようにする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方のために必要な知識・技能を身に付けられるよう、発声練習に毎時間取り組む。	歌詞の内容や情景・強弱による作者の気持ちを考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うか・演奏するかについて思いや意図をもつために、歌詞や旋律の流れに着目するワークシートを作成し、どのように表現するか考えられるようにする。	一斉指導だけでなく、グループやペア学習などを取り入れ、進んで楽しく音楽に関わり、協働的に音楽活動に取り組むようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方のために必要な知識・技能を身に付けられるよう、発声練習に毎時間取り組む。	歌詞の内容や情景・強弱による作者の気持ちを考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うか・演奏するかについて思いや意図をもつために、歌詞や旋律	一斉指導だけでなく、グループやペア学習などを取り入れ、主体的に楽しく音楽に関わり、協働的に音楽活動に取り組むようにする。

	の流れ・音色に着目するワークシートを作成し、どのように表現するか考えられるようにする。	
--	---	--